

歌が生まれる

校歌制作レポート 第1回



イラスト：山崎奈緒

この度、ご縁があって新しい校歌の歌詞構成・作曲を担当させていただくことになった町田育弥という者です。よろしくお願いたします。

学内外から募る「歌詞に入れたい言葉やフレーズ」を素材に新しい校歌を作って欲しい、と短大からご依頼をいただいたのが昨秋。集まった素材が手許に送られて来たのが今年5月22日。完成希望は10月下旬とのことなので、私の制作期間は約5ヶ月。長くも短くもあるこの期間、素材テキストとどう向き合っていこうか？ そう考えて思いついたのがこの連載です。

寄せられた言葉がどのように扱われながら歌になっていくのか？ その過程を覗いてみたい、という無邪気な方や、ちゃんとやってくれるのか心配だ、という疑り深い方がきつといらっしゃるに違いない。そして何よりも、筋金入りの怠け者である私は、こうでもしないとギリギリまでサボるに決まっている……というわけで始めるこの連載、「一緒に創っている」ような感覚で手に汗握りつつ、楽しんでお読みいただければ幸いです。

さて、第1回は、お預かりした膨大な量の素材テキストを眺めながら考えたこと、やったこと、まずはそのご報告から…。

町田育弥 Profile

桐朋学園大学で作曲を専攻。中・高等学校教諭、音楽大学講師など常に教育に携わりつつ、作・編曲・演奏活動を展開。作品は、歌曲、室内楽、吹奏楽、管弦楽、劇音楽など多岐におよぶ。著書にピアノ教本「みみをすます」全4巻、歌曲集「あったかい」などがある。2014～2020年まで本学幼児教育学科教授を務めた。現在、本学客員教授、認定こども園恵泉幼稚園（さいたま市）園長。

♪♪♪ 6月19日 レポート

主人公は誰？

「歌詞に入れたい言葉」の募集結果は以下の通り。

応募総数は延べ512。応募者の内訳は…

在学生：489 教職員：19 卒業生：4

※「卒業生かつ教職員」1名を含むため内訳合計は513になる

次回以降に
触れます

学外：1

歌には必ずその歌の「主人公」がいますが、公募では多種多様な立ち位置からの思いが寄せられて、その像が決めにくくなるのではないかな？ そんな心配を実はしていました。でもこれなら大丈夫。主人公は上田短大を「ウチの学校」と思っている人。はい、決まり。客観的に第三者の視点から「かくあれかし」と謳う…などの可能性は考えなくてよい、ということ。ひとつの懸念が簡単に解消し、まずは幸先の良いスタートです。

意外なイメージの広がり

「笑顔耐えぬ」というフレーズに目が留まり、思わず吹きました。「絶えぬ」の誤記だろうけれど、いや、ちょっと待て、笑顔を我慢しない生き方、笑顔を我慢しなくてよい環境って、大事なことではないか？ そういう学校だぜい！ というメッセージを込める。悪くないんじゃないかな？

こっそりウ・エ・ダ

「上田短期大学、以外で“うえだ”のワードがあるとよい」との一言から即座に文字列の音名当てはめを連想。**UEDA**の中の**EDA**はイタリア音名のミレラ、フランス音名で**Ut**はド、つまり**UEDA=ドミレラ**。

上田短期大学とも上田とも言わないけれど、メロディの中に**UEDA**を忍ばせる。これは常套的な作曲手法で、私もよく使います。よし、それ、やってみよう。ドミレラ…なら、ええと、たとえば…

楽譜をクリック
して聴く

The image shows a musical score for a piece titled 'Allegro'. The score is written on a grand staff with a treble and bass clef. The key signature has three flats (B-flat, E-flat, A-flat), and the time signature is 4/4. The melody in the treble clef starts with a quarter rest, followed by a quarter note G4 (labeled 'ド'), a quarter note A4 (labeled 'レ'), a quarter note B4 (labeled 'ラ'), a quarter note G4 (labeled 'ド'), a quarter note F4 (labeled 'ミ'), a quarter note E4 (labeled 'レ'), a quarter note D4 (labeled 'ラ'), and a quarter note C4 (labeled 'ド'). The bass clef part provides a harmonic accompaniment with chords and single notes. A yellow box with the text '楽譜をクリックして聴く' is overlaid on the right side of the score.

どんな歌詞のところか？ この楽想を使うのか？ 全く分かりません。ただ、今思いついただけ。こんな風に模索しながら進んでいきます。

ではまた次回。